

No. 662

異変はさらに活発化

—長野県松代—

〓松代群発地震〓の震源地、長野県埴科郡松代町地区で9月17日、地すべりが発生、12むね6世帯の家をつぶしてしまつた。この牧内、瀬関の地すべり地帯に総合調査団が現場を綿密に調査。いたる所に亀裂があり、地すべりで押し出された土砂は幅200メートルにもおよび赤い地脈を現わしている。地元の人々は、地震が小康状態の間隙をねらつて現金収入源である葉煙草を担ぎだします。この地すべりでいっそう不安がつり東大地震研では、第三活動期のヤマは過ぎたがしかし万全の警戒が必要と注意をうながしている。

にぎわう羽田空港

このところ、羽田空港は外国の有名なお客さんで賑わっている。

9月18日、フランスから実存主義者サルトル、ポー・ボワール、その同じ飛行機でブオノ・インドネシア副首相らが来日。翌19日には国賓としてネ・ウンビルマ革命評議会議長と顔ぶれも多彩なお客様のようです。

みんなて献血を

—愛知—

9月14日、名古屋市の愛知文化講堂で第二回献血運動推進大会が行なわれ献血功労者多数が表彰されました。また愛知県の日赤支部でも、この程県下いっせいに採血を呼びかけ、市民の多くが参加し善意の献血が行なわれました。

今週の焦点

モード“秋の陣”

街も、店のショーウィンドもすっかり秋だ。あちらもこちらもニュールックであふれる。もの想う季節は着かざる賑やかな季節に変わってしまったようだ。

ニュールックを生みだす各衣装メーカーは秋こそ流行の関ヶ原とたがいにしのぎをけずる。あるメーカーのデザインルームは一年に1,000点近いデザインを生みだし、商品にして市場に出すわずか三人のスタッフである。

どん欲なまでに流行をのみほす女性、ファッション・ショーともなればたちまち2万人もあつまる当世である。つくる方も着る方もたがいに流行を追っかけるのに忙しい……。